



(写真：福島第一原発)

3・11

フクシマを忘れない！ さようなら原発 ヒロシマ集会

2025
3/11火

18:00～
20:00

場所

広島弁護士会館3階ホール

(広島市中区上八丁堀2-73)

資料代

500円

講演

「原子力政策の無責任の構造」

大島堅一さん (龍谷大学教授)

福島からのビデオメッセージ 鈴木薫さん (いわき放射能市民測定室たらちね理事長)

島根原発・上関「中間」貯蔵施設問題について 溝田一成さん (上関原発止めよう！
広島ネットワーク)

東京電力福島第一原発事故からまもなく14年を迎えます。現在もなお帰還困難区域は広範囲に残り、しかも、多くの反対の声を押し切って汚染水の海洋放出の強行が続いています。一方で、廃炉作業において核燃料デブリの取り出しは、延期に延期を重ね、「試験的」に取り出された量はわずか0.7グラムに過ぎません。ところが、政府は「復興は順調に進んでいる」と機会あるごとに宣伝し、被災者の生活再建支援や健康への保障の打ち切りを次々と行い、避難住民の帰還を強引に進めています。しかも、原発推進へと再び舵を切り、次々と原発の再稼働を進め、中国電力島根原発2号機も昨年12月に再稼働し、上関町への「中間」貯蔵施設建設も進めています。

今年は、「第7次エネルギー計画」が策定されていますが、政府は、「脱炭素」の名目で、原子力発電に依存したエネルギー計画を立てています。

そこで今年も、フクシマに思いを寄せるとともに、原発の再稼働・新增設を許さず、全ての原発廃炉の意思統一の場として集会を開催いたします。

ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加ください。

大島堅一さん



1967年福井県生まれ。龍谷大学政策学部教授。原子力市民委員会座長、日本環境会議代表理事。経済学博士（一橋大学）。著書に、『炭素排出ゼロ時代の地域分散型エネルギーシステム』（日本評論社、2021年）、『原発のコスト』（岩波書店、2011年、第12回大佛次郎論壇賞）、『再生可能エネルギーの政治経済学』（東洋経済新報社、2010年、環境経済・政策学会奨励賞）など。

主催 「フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会」 実行委員会

呼びかけ人 秋葉忠利、箕牧智之、森瀧春子、山田延廣、岡田和樹

連絡先 広島県原水禁・広島県平和運動センター ☎ 082-503-5855